

四川經濟の最新情報

Sichuan BEC Newsletter

(NO.1)

四川省經濟合作局 Sichuan Provincial Bureau of Economic Cooperation

2020年8月5日 August 5, 2020

- 四川經濟の主要指標がマイナスからプラスに転じる

今年度の上半期、四川經濟の成長は、下降から上昇に転じており、主要指標のいずれも全国主要經濟地区において上位を占めている。省の国内総生産（GDP）は、22130.27億元に達しており、前年同期より0.6%の成長を維持している。農業領域において見通しが明るく第一次産業の生産高は1965.46億元で、去年同期より1.3%の成長を達成している。工業生産は穏やかに成長し続け、第二次産業の生産高は、8170.29億元に達しており、去年同期より1.5%の成長を遂げていた。サービス産業の減少幅が小さくなり第三次産業の生産高は、11994.52億元で、減少幅は、第一四半期より2.5%小さくなっている。固定資産の投資が速やかに回復しており、全社会固定資産投資額は去年同期より5%増えている。対外貿易において輸出入の増加が速く、輸出入の総額は、3659.1億元で、去年同期より21%増えている。

- 南充臨江新区が設立

7月24日四川省三つ目の省レベル新区の「南充臨江新区」が正式に設立された。企画面積は、398 km²で順慶区、高坪区、西充県等計16の町（街道）を管轄下にする。

「三区一高地」すなわち「成（成都）渝（重慶）北翼現代産業発展集積区」、「国家産城融合発展創新示範区」、「嘉陵江流域緑色発展リード区」、「四川東方向北方向開放合作新高地」の設立を目標にする。現在まですでに現代物流園、中仏農業科技园等の国レベルの園区、南充ハイテク産業区、高坪航空港経済開発区、西充経済開発区等の省レベルの園区及び保税物流センター（B型）、四川自由貿易区南充協同改革先行区等のプラットフォームを構えている。2025年まで新区地域の総生産高は、460億元を突破し、常時居住人口は58万人に達するようにする。

- **企業側の社会保険負担は段階的に年間を通して486億元を減免する**

7月16日、四川が段階的に企業側の社会保険負担の減免を延長する政策を發布する。政策は期限が切れた後でも中小零細企業（個人事業主を含む）は、11カ月の免除、大型企業（民営、社会团体等の各種社会組織を含む）は、5カ月の半額減免をそれぞれ受けられる。年間を通して三種類の社会保険費用は486億元を減免され、予定より更に261億元が増える見通しである。

- **コロナ禍沈静化後、長江デルタ企業が初めて団体を**

組んで四川に入る

7月2日、長江デルタの有名企業は四川に入り、三日間の視察イベントが幕を開ける。7月3日、四川省党書記の彭清華氏は、視察団の一部の企業代表に接見する。会見後長江デルタ有名企業の投資レセプションが行われ、四川省政府副省長の李雲澤氏、全国工商連合会副主席・四川省政協副主席の陳放氏はレセプションに出席する。レセプションの後視察団が成都東部新区の現地調査を実施する。イベントの間成都、徳陽、宜賓、眉山等の市・州及び関係部署と深い交流を行う。今度の視察団は、業界のオピニオンリーダー企業24社、世界フォーチュン500企業1社、中国500企業3社、ユニコーン企業2社から構成され、投資・視察のプロジェクトは、エネルギー、化工、航空、金融、貿易等の領域を幅広く網羅している。

● 四川は再度改革イノベーションのボーナスを解き放つ

四川省が「四川省国家レベル経済技術開発区のイノベーション・改革開放新高地の促進に関する実施意見（以下は「意見」と称する）を發布する。制度、開放、科技イノベーション等の領域を重点に置く。「放管服」を深化する領域において、法律、法規に則って経済開発区省市レベルの经济管理審査批准権限を与える。科技イノベーション領域において国家科技イノベーション政策を率先して履行し、科技イノベ

ーション集積区と産業新高地を積極的に育てる。デジタル経済の発展を促進する領域において、通信企業の5Gネットワークの構築を支持する。運営コストにおいてエネルギー資源のコストを下げ、規定に従って非住民の天然ガス利用価格の市場化改革を進める。条件が満たされる経済開発区内の企業の天然ガスの利用方式は、「転供」を「直接供給」への切り替えを支援する。

● 川（四川）渝（重慶）交通一体化、1時間交通圏を構築

7月2日、「成渝地区双城经济圈交通一体化发展三年行动方案（2020～2022年）」が發布される。2022年まで道路、水運建設において重慶・成都を出る高速道路は24本（四川側は13本、重慶側は11本）、四川と重慶間の高速道路は16本、4級及びそれ以上の高等級航路は3100キロ（四川側は1700キロ、重慶側は1400キロ）、港コンテナ取扱能力は760万標準コンテナ（四川側は260万、重慶側は500万）をそれぞれ建設する。旅客運送、物流サービスにおいて成渝両地域の公共バス・地下鉄のICカードの相互利用ができるようになり、四川、重慶の隣接地域で省を跨ぐ公共交通路線を13本開通する。

● 南方向の四川を出る道路の基準速度を高める

7月29日、成都から宜賓までの高速道路の片方が貫通

し、年内まで使用できるようになる。成宜高速は、成都から宜賓までの最も短くて速い高速道路で、全長は157キロ、双方向は6車道の設計である。途中に成都東部新区、簡陽市、眉山市仁寿县、内江市威遠県、自貢市榮県及び宜賓市叙州区、翠屏区を通る。貫通後、成都から宜賓までの走行時間は2時間以内に短縮することができ、成都平野経済区から四川南部経済区までの最も便利な南方向の四川を出る道路になる。

7月29日、「蓉（成都）欧（ヨーロッパ）+」アセアン国際列車は初めて内江基地より始発する。当列車は、四川から広西までの快速通路で、1443キロ離れる広西欽州港に直通し、欽州港より海運を通じてタイ、インドネシア、ミャンマー等のアセアン各国に貨物を運ぶ。このルートは速度が速く、効率がよく、運航が安定する優位性を持ち、「四川製造」の製品を全世界に販売していく。

● 成都人材新政策2. 0バージョンが策定

6月3日、「中国西部（成都）科学城建設を支持する人材行動計画」が発表される。「硬核人材」の中国西部（成都）科学城への常駐を奨励し、最高300万元の資金援助を与える。「蓉漂人材発展基金」を立ち上げ、人材（チーム）に金融の翼を付ける。一件ずつに討議してトップの科学研究チームに総合支援を与える。トップ企業が認定した優秀な人材が枠外に工程系列の高級職位の申請を支持し、「人材基準

の認定は、企業に任せる」ことを実現する。「人材開発券」を発行することによって企業の人材開発コストを低減させ、人材資源市場の供給と企業側の人材需要のバランスを実現する。

より多い情報は、WEBサイト <http://jhj.sc.gov.cn> をご参考ください。

「投資四川」Wechatアカウントを検索しフォローしてください。

上記の情報は、主に四川日報、新華網、四川発布より引用されている。

Main Source: Sichuan Daily, XinhuaNET, SCpublic